

# 発達障害・思春期をかんがえる

## 基本的事項



新潟大学大学院教職実践学研究科  
長澤正樹

# 自己紹介



- 昭和33年生まれ
- 特別支援教育が専門

障害のある子どもの教育  
通常の学級での特別支援教育

- 新潟市スクールカウンセラー

不登校、非行、いじめ、虐待  
学習の遅れなど多様な特性のある児童生徒  
生活上の問題、養育上の悩み

- 新潟大学キャンパスライフ支援センター副センター長  
– 障害のある学生を支援しています

# I 発達障害



# 主な発達障害

- 学習障害(LD)
  - 知的な遅れは見られないが、読み書き計算に困難さを示す
- 注意欠如多動障害(ADHD)
  - 不注意、多動、衝動性を示す、行動抑制の障害
- 自閉スペクトラム障害(ASD)
  - 対人関係など社会性の困難さと、こだわりなどの同一性保持を示す
- 知的障害(ID)
  - 知的発達の全体的な遅れ、適応行動の遅れ

# 注意欠如多動障害 (ADHD) とは

- 不注意

- 不注意、注意の持続の困難
- 聞いていない、物事をやり遂げられない
- 順序立てられない、物をなくす、忘れる



- 多動

- もじもじする、座ってられない、高いところに上がる
- 静かに活動できない、しゃべりすぎる

- 衝動

- すぐ答える、順番を待てない
- 他人を妨害する、がまんできない、ゆっくり活動できない

ADHDとは自分の行動が抑制できない障害

こういう人たちも、ひょっとして、



山田 (山田笑太)



アニメキャラ(?)

# ADHDのウリは？

- 創造性の高さ

芸術活動、ユニークな意見、発想力の豊かさを評価する

- 人助けが好き、行動力がある

人の役に立つことで自己肯定感を育てる

- 変化に敏感

緊急時に思わぬ力を発揮することも

- 意外にも・・・

おっとりしている、好きなことに抜群の集中、正義感が強い

好きなことや、非指示的な活動には集中(Orban,2018)

# ADHDに求められること

- 自己理解

行動抑制の弱さとさまざまな困難、自分のウリ

- 自己管理

行動抑制の仕方を学ぶ、実施する、振り返る

- 自己解決

解決の仕方を教えてもらい、自分で考え解決する

- 自己主張

気持ちを理解し、望ましい態度・かかわり方を学ぶ



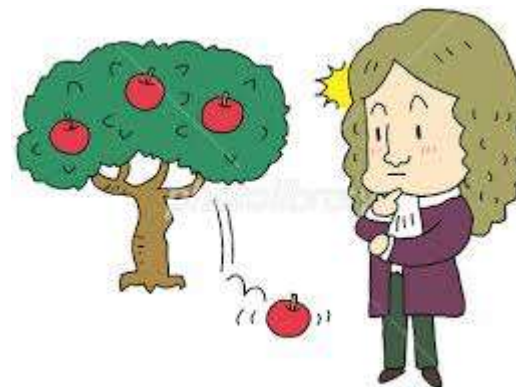
# 自閉スペクトラム障害 (ASD) とは

1. 社会的コミュニケーション、相互作用の障害
  - 社会的感情の相互関係の欠如
  - 非言語コミュニケーションの問題
  - 年齢相応の社会関係の困難さ
2. 行動の特異性 (同一性保持、こだわり)
  - 儀式的行動
  - 常同的な反復行動
  - 感覚の特異性
  - 興味関心の特異性、狭さ



クレーン行動

# かもしれない人たち



優れた業績のある人(?)

# ASDのウリは？

- 正義感が強い、まじめ

主張の正当性を評価し、対応の仕方を教える

- 論理的思考、理数系に強さを発揮

特性にあった進路、活動を勧める

- 記憶力が抜群

学習や趣味に生かす。みんなの前で評価する

- パソコンなど、機器関係に強さを発揮

問題行動や困難さへの対応を考える前に、  
発達障害のプラスの面を評価すること

# ASDに求められること

- 自己理解

他者理解の困難さ、自己管理の弱さ、自分のウリ

- 自己管理

課題の優先順位など、スケジュール管理。支援ツール

- 自己解決

解決の「形」を知り、形に従い問題を乗り越える

- 自己主張

SSTやカウンセリングで、人とのつきあい方を学ぶ

# 主な発達障害(続き)

- コミュニケーション障害(CD)
  - 言語障害:ことばのゆがみなど
  - 社会的コミュニケーション障害:対人関係の困難さ(こだわりなし)
- 運動障害(MD)
  - 発達性協調運動障害:極端な不器用さ(15%?)
  - チック障害:突発的な動き、音声

発達障害は病気ではなく特性ととらえる  
必要なことは、教育や支援、そして一部治療



# 発達障害：まとめ **New**

- 基本をしっかり

特性と対応、支援の基本内容を理解し実行

- 個人差がありますよ

同じ障害でも対応が同じとは限らない

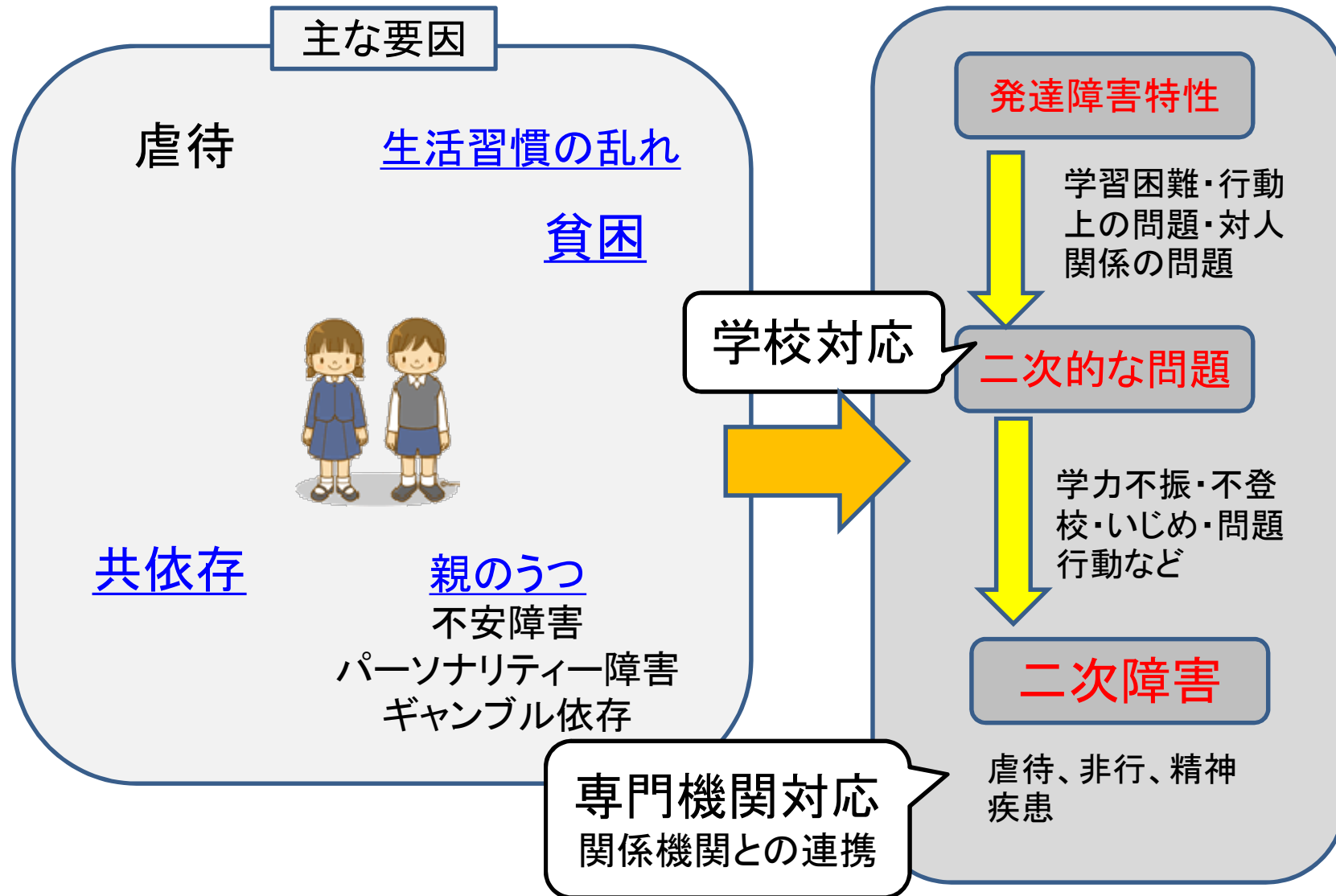
- 紛らわしい子どももたくさん

RAD(被虐待の子)、親の影響、ギフテッド・2E、HSC・・・

- 忘れてならない本人中心

子どもが困っていること、して欲しいこと、  
なりたい自分をしっかり聴こう

# 発達障害特性の要因と二次的な問題・二次障害



## Ⅱ 中高生への対応

保護者に覚えてほしい  
思春期・ごく基本的なこと





# 1. 各発達段階の課題

乳幼児期	学童期	青年期	成人期
<ul style="list-style-type: none"><li>・養育者との信頼関係</li><li>・基本的な生活習慣</li><li>・身辺自立</li><li>・自己決定</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・友達関係</li><li>・担任との信頼関係</li><li>・学力、学習</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・友人関係</li><li>・自己理解</li><li>・進路学習</li><li>・余暇活動</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・就労</li><li>・生活の自立</li><li>・社会生活</li><li>・自己実現</li></ul>

各発達段階にクリアする課題がある

# 青年期の対応

- 心許せる友人、良好な友達関係(帰属集団)

趣味や価値観を同じくする友達との出会い、つきあい

- 自分自身のことを知る・理解する

できることを増やし、自分を客観視できるようになる

- 進路

自己理解を深め、自分にあった進路の選択

- 余暇活動

大人になっても続けられる趣味やスポーツなど

自分のことをよく知り、自分の良さを認め、大人社会を意識する  
親はそのモデル(大人であること)を示す責任がある

## 2. 自己決定の重要性

- 昭和の教育観
  - 大人の言う通りにしていれば「いい子」
- 令和の時代は自分で人生を決める
  - 進路、仕事、結婚相手
- きめ方、選び方、解決の仕方を一緒に考える



「子どもの自由に」は誤り  
情報を集める、話し合う、意見を言う

「出かけるけど、電車にする？ バスにする？」  
「電車だと10分で着くけど15分歩くよ」  
「バスは20分かかるけど、バス停からすぐ」

# 学習指導要領



自ら考え、判断できる子どもを育てる  
答えを教えるのではなく、ヒントを出す

# 何を一緒にきめますか？

- 生活の時間(時間の管理など)
- スマートフォンの購入・使用
- インターネットの利用について
- お小遣いの金額と使い道
- 休日の過ごし方(外出、外泊)
- 部活動や習い事
- そして、



pixta.jp - 6823978

高校進学、進路が最も重大な自己決定です  
情報収集し、意見を出し合い、妥当な選択を

# 皆さんはどうですか？

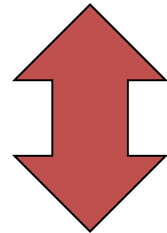
自己決定の自己評価

- 家族や知人と食事に行ったとき、食べたいものをすぐにきめられる
- 自分の収入に見合った買い物をしている
- 気が進まない飲み会の誘いを上手に断る
- 自分の苦手なことを認め、必要に応じて助けてもらっている
- 仕事がうまくいかなくても、「運」や「政治」などのせいにしない

いくつ「はい」がありますか？

### 3. 反抗期：みんなが乗り越える大事な経験

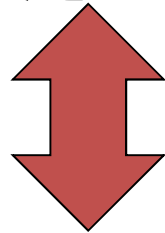
- 子どもの自分：親を頼らなければならない



矛盾、葛藤

- 大人の自分：親を頼りたくない、自立したい

- みんなと同じでありたい



矛盾、葛藤

- みんなと同じでは満足できない：アイデンティティ

# イラつく、反抗する、逆らう…

- 自分自身の中に、相反する気持ちや考えが合って、その矛盾と葛藤のために、情緒不安定になったり、攻撃的になったりする

- 健全な発達
- この時期を乗り越えて近づく





## 4. 子どもの問題行動

- 子どもの問題行動は間違った自己主張

反抗、暴言、無視、ルール違反…

- 何を訴えたいのか、よく話を聴くこと
- 問題行動を正すのではなく、正しい自己主張を教えること

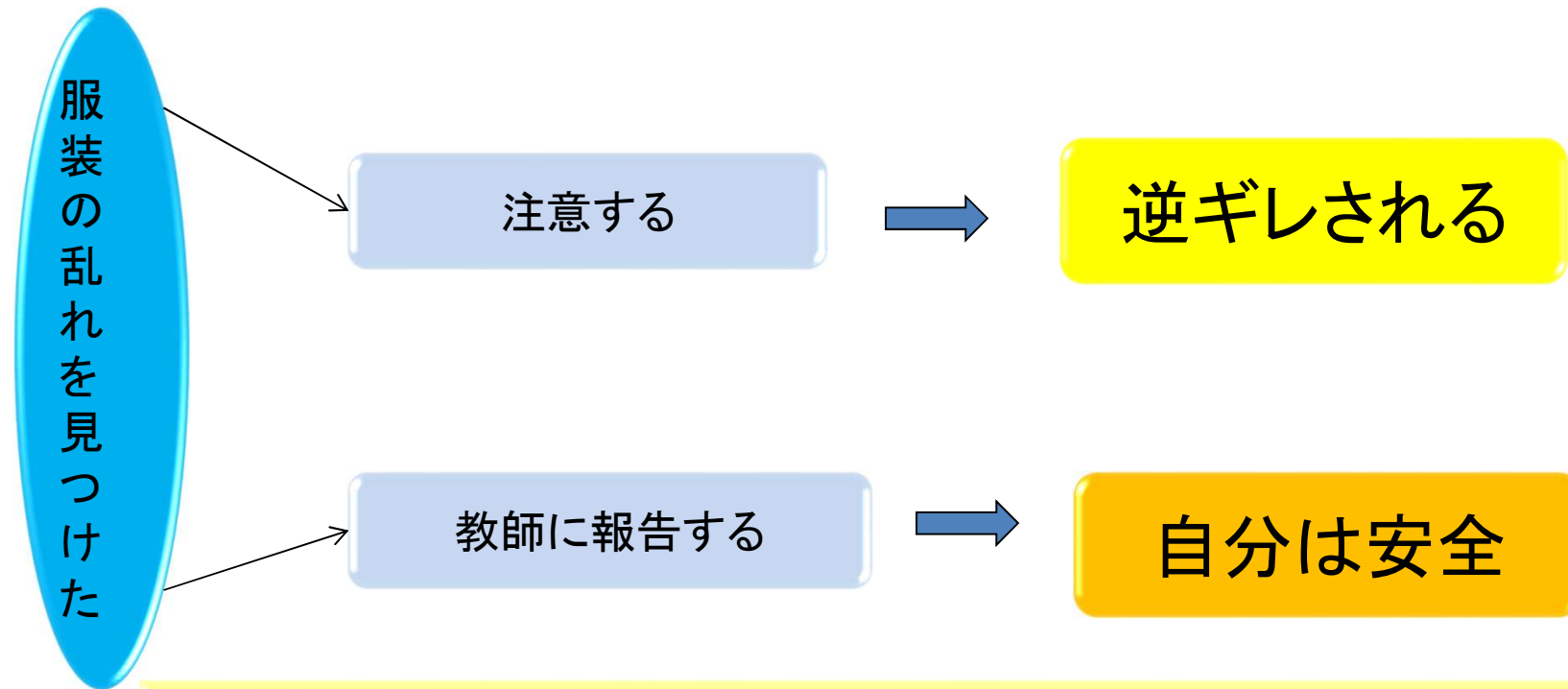
わからないときに大騒ぎ

「『教えて』って、言えればいいんじゃない？」

話をよく聴く

「～してはいけません」 → 「○○しましょう」

# (参考)本人の訴えを聞き、自己選択支援



本人の意見と、通常の実験の結果を比べ、  
どうするか(どちらが自分にとって利益になるか、不利益か)を今一度考えてもらう

Gosling(2018);Mosner(2017)

# 問題行動への心構え



- 「良い子」に育てるマニュアルはない

「良い人」に育てる努力の過程が大事

- 「必ず良くなる」を信じること

うまくいかななくても、一緒に揺れてください

- ときには毅然とした態度を

ルールや対応をきめたらその対応を続けること

これらを信じて、子どもと付き合っていけば、  
いつしか良き人に育っているはず

# 毅然とした態度

- きめられたルールを厳守し、絶対に譲らない

親が子どもの持ち物を点検することは  
親の権利であり当たり前なんだ

- 一人の人間として尊重し、信頼する

でも、私はあなたを信用している  
あなたに黙って点検することはしないようにする

- 話し合うことの重要性を示し、約束する

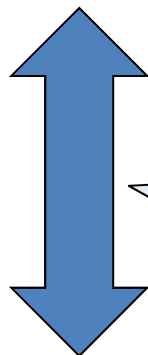
困ったときはどんなことでも相談してね！

強い意志、信頼する態度、話し合いの継続

# 大切なこと



- 毅然とした態度



- 自己決定

コミュニケーション

問題を共有  
一緒に調べ、考え  
お互いが納得する決定を！

## 5. 帰属集団(自分が所属する集団)

- メンバーからの承認が得られる

認めてもらえる→自己肯定感

- 行動様式を学習する

年齢相応のソーシャルスキル

- 自分らしさ(アイデンティティー)の確立

自己理解、自己実現へ

- 居場所の提供

安心感、やすらぎ

中高校生にとって、友達は宝物。干渉ではなく関心を持つこと

## 6. 性について



- 同じ人間として尊重する姿勢
- 男女の違いを尊重する姿勢

立場の違い、もののとらえ方の違い、感性の違い

- きちんとした情報を

男子へ: 性(行為)に関する基本的な倫理道德

女子へ: 男子に好かれることと、性行為をさせることの違い

ネットからの不適切情報に浸らせない  
聞かれたら誠実に答える(いっしょに考える)姿勢

## 7. 大事にしたい「共通体験」

- 子育ては時間の共有、体験の共有
- 共通体験を通じて、相手の気持ちが分かるようになる
- 共通体験は「ひきこもり」をまねかない



一緒に遊ぶ  
一緒に食べる  
一緒に働く  
一緒に話す  
一緒に笑う

子どもの話につきあう  
子どもの意見を認める

日常生活を共に過ごし、ともに楽しみましょう



## 8. 親子関係：コミュニケーション

- 子どもと、直接のコミュニケーションを大切に

対話を習慣化する

- 子どもの話によく耳を傾け、

まず、「聴く」、から始めること

- 子どもの生活に関心を持ち、

「見守り」の精神で。

- 子どもの気持ちを受け止めてあげること

直接のコミュニケーションで、スマホ依存に勝てます！

スマホは子どもの話を聴いてはくれません

## 9. イベント、それは手軽な共通体験

- みんなで共通の楽しみを!

季節の行事、地域の行事、誕生日、特別な日、...

- みんなで準備、みんな楽しむ

飾り付け、料理、プレゼント、...

- 単発で終わらず、継続することが大切



メリハリのある日常、そして話題作り、思い出の共有  
あわせて「生活スキル(技能)」を教えることができる

## 10. チェックリスト (保護者用)



1. 落ち着いてお子さんの成長を受け止めていますか
2. お子さんにしょっちゅう声をかけたり、褒めたりしていますか
3. お子さんの「ウリ」を認めていますか
4. お子さんと話し合って物事をきめていますか
5. 問題を起こしたとき、言い分を聴いていますか
6. お子さんの普段の様子を知っていますか
7. ネット利用のルールがありますか
8. いじめや人付き合いのしかたを話し合っていますか
9. 家族で定期的に楽しむイベントがありますか
10. 愚痴を聴いてくれる人はいますか



# まとめ：思春期と自己理解

- 基本は自己決定

自ら考え、判断できる人をめざす

- 自己理解は自身を客観的に見ること

様々な角度から情報を集め冷静に分析

- 対話や集団への帰属から理解を深める

親やきょうだいから仲間、目的を共有する集団など

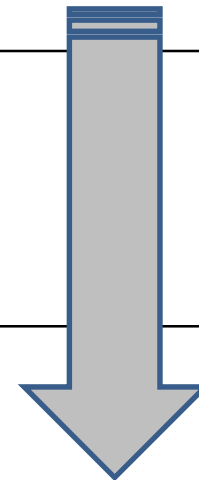
- 自分の特性は社会のどれにつながるのか？

唯一無二の自分を見つけ確立する大事な時期

# 年齢段階と指導困難(別府、2013)

就学時	情報の引き継ぎ不足
小学校低学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多動、指示服従行動(-): ADHD</li> <li>・感覚の特異性からの集団生活不適応: ASD</li> </ul>
小学校中学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習困難</li> <li>・集団トラブル顕在化</li> </ul>
小学校高学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己肯定感の低さ→internalized problem</li> <li>・集団トラブル、不適応→externalized problem</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓ 二次障害へ</p>
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中一ギャップ</li> <li>・被害者的な感情、怒り、孤立: ASD</li> <li>・非行: ADHD</li> </ul>

不登校



問題を抱えた教師へのコンサルテーションの必要性 ← 外部機関  
情報の引き継ぎの重要性

# ライフステージに応じた福祉支援・教育

乳児期

幼児期

学童期

青年期

成人期

<p>相談内容</p>	<p>先天性疾患</p> <p>注意・集中困難</p> <p>発達の遅れ</p> <p>就学相談</p> <p>就学・就労相談</p> <p>学習の遅れ・不登校</p> <p>集団場面での困難</p> <p>対人関係の困難</p>
<p>施設支援</p>	<p>発達教室</p> <p>障害児入所施設</p> <p>特別支援学級</p> <p>障害児通所施設・</p> <p>通級指導教室</p> <p>統合保育</p> <p>特別支援学校</p> <p>学童保育</p> <p>ハローワーク</p> <p>就労事業所</p> <p>支援センター</p>
<p>その他</p>	<p>所得税・住民税の控除</p> <p>就労相談</p> <p>障害者手帳の申請</p> <p>成年後見制度</p> <p>就学奨励費</p> <p>堀口(2006)一部改</p>

# 予後を左右する要因

要因	将来のQOLへの影響
IQ	?
共同注視・模倣	+
適応行動	+
幼児期の言語使用能力	+
問題行動	-
自閉症特性(制限された反復行動)	-
余暇(有)	+
自己決定	+

(参考) 知的障害+ASD: 加齢と共に医療的ニーズ高まる。Shea(2018)

高齢ASD(知的障害なし): 精神疾患とそれに伴う医療的ケアの必要性。Nylander(2018)

# 成人期(以降)

- 知的に高いASD: 予後良好だが親に依存、なかなか支援されない
  - Chamak(2016)
- ASD特性薄まる? 精神疾患の可能性
  - Horwitz(2020)
- 社会的行動を避ける傾向、こだわり強くなる、予測できない衝動性出現
  - Heijnen-Kohl(2017)



# ASDの二次障害

- ため込み症(Storch,2016)
- 自傷行為：28%(Soke,2016)
- HSP。聴覚過敏性(70%)(Carson,2021)
- 不確実性への適応困難、不安障害  
(Rogers,2018)
- ストーカーとみなされやすい(Stokes,2007)
- 拒食症。女子(Brede,2020)

# ためこみ症への対応

- これからのルール作り
  - 「入手ルート」を絞る
  - ものに対する保管期限をきめる
  - 透明な容器に入れる → 見える → 安心
- ものを一度減らす試みを
  - 「きれいになってありがとう」



# 最近の研究から(参考)

- 女性の場合高い処理速度と実行機能でASDがカモフラージュされる
  - Lehnhardt(2016); Wood-Downie(2020)
- アイデンティティー確立の困難さから、性的少数者の傾向が見られる。同性への性的志向の高さ
  - Rudolph(2018)Aut,48(2); Qualls(2018)Aut
- LGBTの割合の高さ。生物学的性が男子であることが多い
  - Heylens(2018)

[思春期女性への支援](#)



# 多様性の尊重

- 多様な姿・実態を受け入れる

多様性は自然であり、当たり前前の社会

- それぞれのニーズを理解する努力を

対話で悩みを共有し、できる支援を積極的に

- 支援や理解啓発を組織的に(学校など)

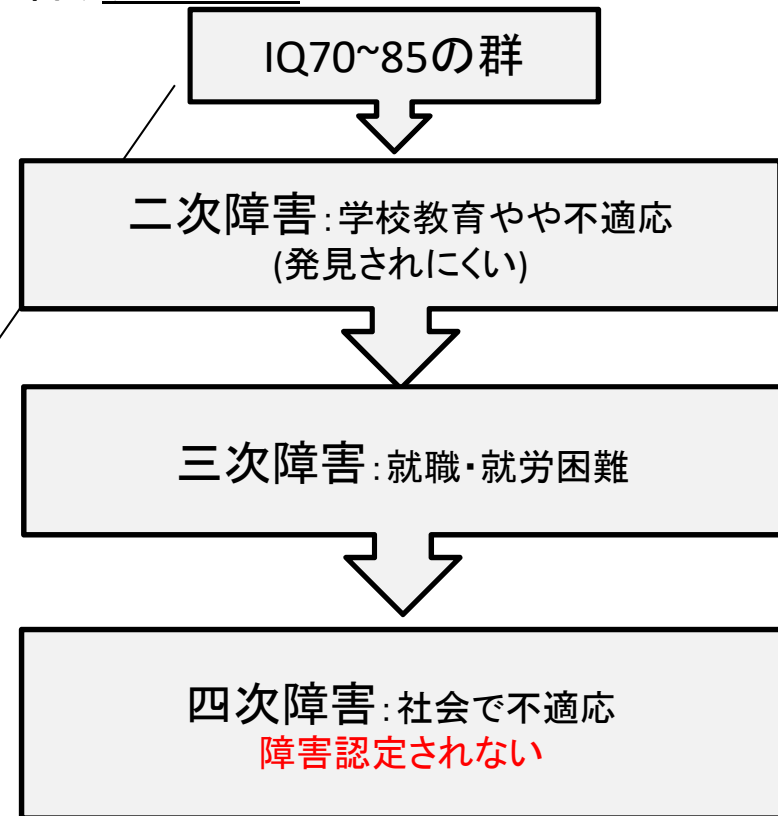
担任だけでは限界がある。チーム学校で対応

一人ひとりの違いを認め、強みを生かす教育を  
他人(多数派?)と比べずその人なりを尊重  
(人と比べることが不幸の始まり)

# 密かに話題になっていること

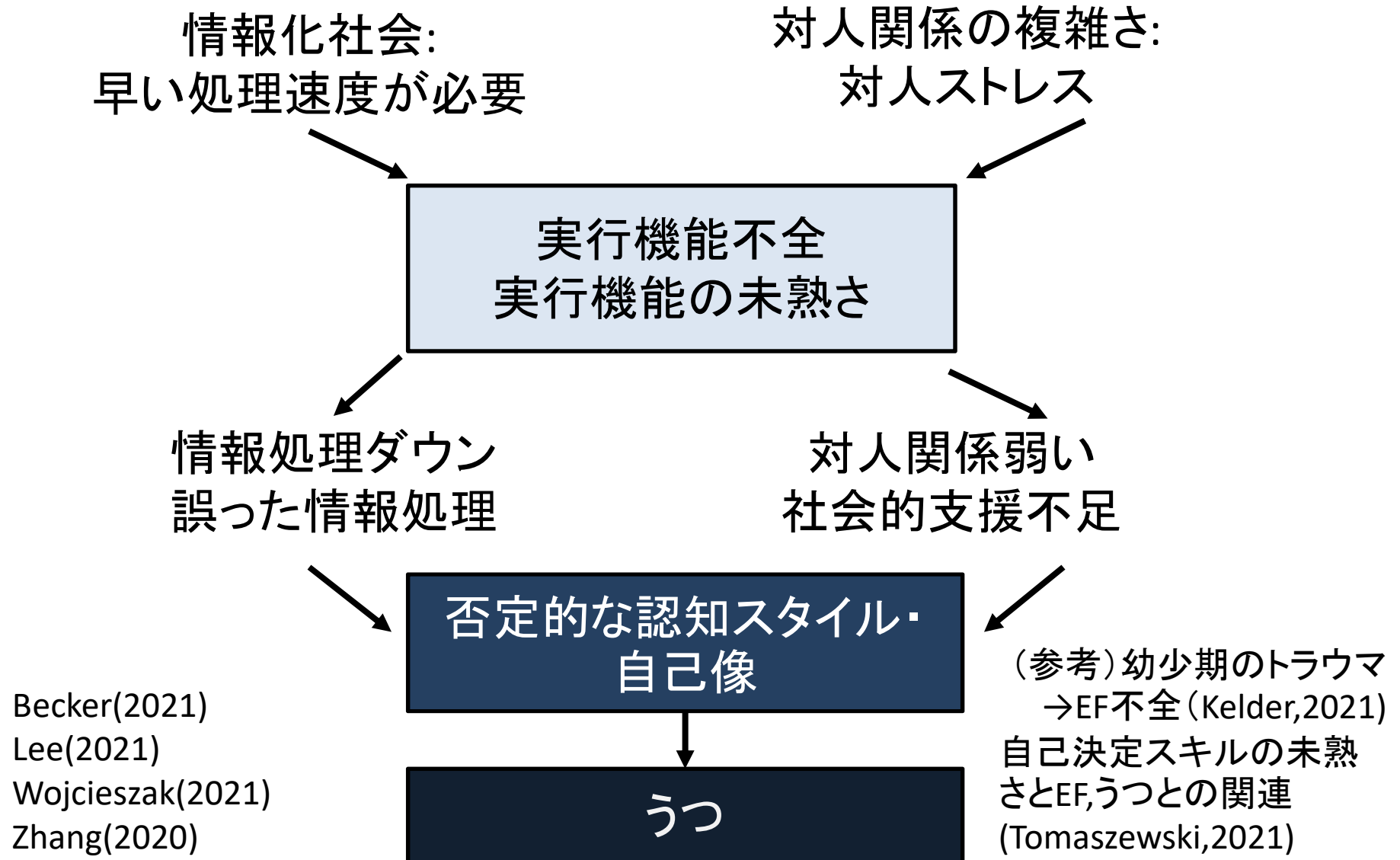
(**実行機能**): ストレス対処の弱さ、適応行動に影響、うつリスク

1. **認知機能**の弱さ
2. 感情統制の弱さ
3. 融通の利かなさ
4. 不適切な自己評価
5. 対人スキルの乏しさ
6. 身体的不器用さ



小学校段階からうまくいっていないが、問題視されない  
社会で適応できないがHelpが言えない。制度で救われない

# 実行機能不全からうつの関係



# かかわり(説明など)の工夫

- 子どもの実態：情報がそろっていない(部分部分欠けている)、整理できていない、相手の意図を読めていない、その結果動けない・説明できない
- 必要な情報を一つ一つ視覚化し(ホワイトボードなど活用)、子どもに確認し、情報をわかりやすく説明して、どうすればいいのかを一緒に考える

事例



お父さんの言ったこと

お父さんの気持ち

いいかげんにしなさい！

言われなくても宿題を  
やってほしい

私：  
明日から、言われなくても  
宿題をする





# 将来のために何が必要か？

- 小人数、個別学習の機会の保障
- 学力の実態に合わせた学習計画
- 学ぶ時間を十分確保
- 理解を確認しながら次の課題へ
- 同じレベルの問題を繰り返す

「才能と収入は別、努力は人を裏切る」(水木しげる)  
教科学習への努力は子どもを裏切りません

# 長澤研究室



特別支援教育・発達障害の情報  
講演会の資料

